

平成25年度

女川町まちづくりワーキンググループ

第5回 定例会だより

第5回まちづくりワーキンググループが行われました！

平成 25 年 12 月 2 日に、第5回女川町まちづくりワーキンググループが開催されました。

前回の振り返りと、各検討チームの進捗報告を行い、その後、これまでの各検討チームでの話し合いの成果について、自分の所属する検討チーム以外のグループに参加して話し合いを行いました。



第5回全体定例会開催概要

開催日時：平成 25 年 12 月 2 日（月） 18:30～20:30

開催場所：女川町役場仮設庁舎 2階第2会議室

参加者数：24 名（観光協会インターン3名含む）

【内容】

- (1) 前回の振り返り
- (2) 各検討チームからの報告
- (3) グループワーク

各検討チームからの報告

《観光交流検討チーム》

第3回検討チームを開催し、プロムナード空間のデザインを担当されている小野寺康氏をお招きして、意見交換を行いました。まずは小野寺氏から町全体の計画のデザインの考え方や、プロムナードや海へつながる広場をどのような考え方でデザインしたのかをご説明いただきました。

次に意見交換会を行い、「くどける水辺がある町」というコンセプトが共有されました。

《運動公園検討チーム》

第2回検討チームを開催し、清水地区を歩きながら道路の整備計画、清水公園のゾーニングの説明を聞く現地見学会を行いました。第3回検討チームでは、公園の将来目標と、必要な機能について話し合いました。将来目標には、「自然を活かし、3世代で楽しめ、長く滞在できる公園」というキーワードが出されました。また、導入機能として、各ゾーンに必要な機能（キャンプ場、雑木林、プレーパーク、運動施設、パークゴルフなど）利用対象とする人について、意見交換を行いました。

《公共施設検討チーム》

第2回検討チームを開催し、地域の活性化に寄与する公共施設の事例などを学んだ上で、中心市街地での公共施設についてのあり方を安全性、活性化を観点に整理・分類しました。「避難所になる施設や、子供に関する施設は、安全性が高いほうが良い」「地域交流やにぎわいにつながる施設は、商業エリアにあったほうが良い」などの意見が出されました。

《教育環境検討チーム》

第1回検討チームを開催し、平成24年度ワーキンググループの振り返り、現状の教育環境の現状と課題についてについて意見を出し合いました。「子どもの遊び場、居場所がない」「たくさん子どもを産んでもらえる環境が大切」「小中一貫になると、大人になる感覚がなくなるのでは」などの意見が出されました。

グループワークまとめ（各検討チームへの意見）

今回のグループワークでは、これまでの各検討チームでの話し合いの成果について、自分の所属する検討チーム以外のグループに参加して話し合いを行いました。

各検討チームのテーマは以下のとおりです。

- ①観光交流：“女川らしさ”とは？-女川らしい生活・要素-
- ②運動公園：誰の為のどんな運動公園に生まれ変わるか？
- ③公共施設：商店街の活性化に寄与する公共施設のあり方
- ④教育環境：現状の課題に、地域・町民がどう関わるか？

各グループの話し合いの成果は、下記の通りです。



観光交流検討チーム	運動公園検討チーム
<p>《差別化を図る》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客向けのエリア（海が近いと住民は不安で、安心して使えない） ・石巻や仙台など、周辺との差をつける ・緑地では陸前高田に、メモリアル公園では石巻に負けてしまう ・住みやすい町は、他からも人が来る <p>《差別化のための工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアス式の地形を活かしたスペインの雰囲気 ・海に見える終着駅 ・宮城県にはない「恋の聖地」「恋の島」 ・海辺のライトアップ ・水に触れ合える空間 	<p>《清水公園の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場は県内に複数あり、差別化にならないのではないかと ・外から人を呼ぶのであれば、陸上競技場にこだわらず、圏域にない機能を導入することが重要 ・何のスポーツを売りにするのか？「〇〇〇をするなら女川」というイメージをつくりたい <p>《ここにしかない機能とは？》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロスカントリー、マウンテンバイク、トライアスロン ・何もなくて良い、野原があれば良い ・町内資源をつなぐ（漁業体験とバーベキュー） ・気軽にできるスポーツがたくさんある「ちょい遊び」の仕掛け
公共施設検討チーム	教育環境検討チーム
<p>《利用しやすい公共施設》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雄勝にあったすずり館のように、特徴のある施設と運営の企画力で人を呼ぶ ・図書館は入りやすい開放的な雰囲気が良い ・高齢者福祉施設と幼稚園の老幼の連携も効果的 <p>《施設に人を呼び込む仕掛け》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の開店時間を揃える ・商店ワゴンセールなどを路上に出して賑わいを創出 ・ストリートでイベントをすれば人が来るのではないかと ・車での商店利用の便を考えてほしい ・ゆぼっぼと図書館で、プロムナードに人の動線を生み出す 	<p>《教育環境を検討する際の基本的視点・課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少を克服するための核となるのが教育 ・自分の子どもにどういう人になってほしいか ・高校は石巻に通学しても、女川に住み続ける環境・魅力づくりをしたい <p>《女川の教育環境の特色や今後のアイデア》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の特徴としてスポーツ少年団（バスケットボール、野球など）がある ・病児保育を行い、親が働きやすい環境づくり ・学力だけでなく“生きる力”を身に付ける ・一芸に秀でたものを身に付けられる教育をする

今後の開催予定

●第6回全体定例会

日時：平成 26 年 1 月 9 日（木）18 時 30 分～20 時 30 分

場所：女川町役場仮設庁舎 2 階第 2 会議室

内容：各検討チームでのワーキンググループの内容を報告します。

各検討チームの知見を活かし「女川町のシティプロモーション」について話し合います。
先進事例視察の参加申し込みの締切日です。

👉 ワーキンググループに参加したい方（町外からのオブザーバー参加含む）、復興まちづくりに対するご意見のある方は、下記までお問い合わせください。

女川町役場 復興推進課 復興調整係 TEL 0225-54-3131（内線239）